

インターバンクの声（2014 年 11 月 4 日）

ドル円相場が今年 1 月以来となる 105 円台を付けたのが 9 月 2 日。それから僅か 1 ヶ月ほど経過した 10 月 1 日に 110 円に到達したばかりだと言うのに、さらに 1 ヶ月ほど経過した昨日は 6 年 10 ヶ月ぶりの 114 円台まで円安が進んだ。実に 2 ヶ月ほどで 9 円も円安となったわけだ。米連邦準備制度理事会（FRB）が資産買い入れ終了宣言をして緩和政策から事実上の離脱に向かい、逆に日銀が市場の意表をつく追加金融緩和を発表するタイミングとあっては、この円安も仕方なしにも思えるが、さすがに 2 ヶ月で 9 円もの円安スピードは早すぎるかも知れない。週初めの発表となった米 10 月 ISM 製造業景況指数は、いきなり市場予想を大きく上回る結果となり、これが 114 円乗せ要因となったようだ。金曜日の米雇用統計の数字も堅調なら 115 円が次の目標なのだろう。ただ、そろそろ市場でも急激な円安に異を唱える者、大きめの円高調整に乗じて一攫千金を狙う輩も出てくる頃だ。もう一段の円安にはアンテナを高くしておきたい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。